

鶴の舞橋開通記念県下短歌大会

入賞作品 生徒の部 天地人

●題【自由詠】

野呂富枝氏 選

天 里帰り母が娘の顔になり祖母の笑顔お盆のひととき

鶴田中一年 秋田優香

地 兄・姉と久しぶりの再会恥ずかしいけどあいたかつたよ

鶴田校二年 斉藤 泉

人 暑い夏祖母が育てた大きな実日を浴びたかな大好きな桃

鶴田中一年 永澤悠人

中村喜良雄氏 選

天 次々と竿より腕へ抱え込む洗濯物は陽の匂いがする

鶴田中二年 工藤智穂

地 暑い中風鈴の音で癒されるバイトで疲れた私の体

鶴田高一年 下山千尋

人 落日に重い体で帰宅する待っているものは家族の笑顔

鶴田高二年 成田友美子

新谷 統氏 選

天 夏祭り花火が終わり暗闇に包まれたとき寂しくなった

鶴田高一年 古坂文乃

地 里帰り母が娘の顔になり祖母の笑顔お盆のひととき

鶴田中一年 秋田優香

人 落日に重い体で帰宅する待っているものは家族の笑顔

鶴田高二年 成田友美子



十月二十九日(日)、鶴田短歌会主催による「第十三回鶴の舞橋開通記念県下短歌大会」が豊明館で開催されました。今年も、宿題A「自由詠」、宿題B「遊」(一般の部、生徒の部共)、席題「今」(一般の部のみ)および短歌ボストの部ごとに作品が寄せられました。その中から、生徒の部で入賞した作品を紹介します。

●題【遊】

斉藤 梢氏 選

天 夏の日に夜空の下で花火するいろんな色が夜空を照らす

鶴田高一年 坂本圭太

地 夕暮れに子供の影が長く伸びはよ帰れよと声が聞える

鶴田校一年 増田美鈴

人 お手玉を孫に教えるおばあちゃんこの風景が続いて欲しい

鶴田高一年 下山千尋

山谷久子氏 選

天 砂浜で楽しく遊ぶ子どもたち砂のお城は上手にできた？

鶴田中一年 棟方千捺

地 夏休み遊び疲れて昼寝する弟の顔日焼けて真っ黒

鶴田中二年 松江夏穂

人 公園で幼い子供遊んでる自分も昔あだったんだな

鶴田中三年 川口浩恵

富士修二氏 選

天 夏休み充実させたつもりだが遊べど遊べど寂しさ残る

鶴田高三年 工藤卓也

地 友達に誘われ遊び帰宅して怖い親の怒号が響く

鶴田高三年 坂本孝夫

人 帰り道遊び終わって寂しげにふと見上げると満天の星

鶴田高一年 三浦あかり